

彼女 A

黒街の誰もが待っている

持て余す幼遊び

空気を引いて

右目から鮮やかな嘘

甘い部屋 音も無く

影が交じった

夕立

ささくれた皮を剥ぐ 死んだ方がまし

雷を避けるように家に火を点けた

「明日からの彼らいつ会うの？」

恍けて朝を待つ

南風に乗って旅に出ようぜ

荷物重い重い・・・

夕立

割れたグラスに雨漏りの音を聞きながら

この雨に唄えども

顔のない丸い舟 浮かぶ逃げ水

昇降機の天井に椅子を置いて来る

夕立

見上げた窓に絶句した坊主の足吊り

遠くの空から鳴き声も

サーモグラフィ

「不完全に完成したいだけなの」

視力がぶれる

私だけ？

言われるがままにトキメキ

すぐに通じて不通になる

美しく貼れたシールも

すぐに剥がれてドブの中

待ってくれやしないのに

また踏切、信号、不通になる

美しく貼れたシールも

すぐに剥がれてドブの中

サーモグラフィの熱い所から

窓を開けなきゃよかった

軽いジョークで済むはず

しかしボールは飛んでいった

世界に嫌われてく

半身小刻むだけ

crazy athletic

「ねえ。話を聞いて？」

煩わせる唄に酔いしれて、ただの屍

話し相手見付からず鉛を舐めた

百年ぶりのシネラリア バイバイしてもいいか

焼けた肉を頬張る風 海を煽げ

百年ぶりのシネラリア バイバイしたくないな

顔を上げて後の祭り 認めない

ゲーム感覚でこの怨み歌は高らか

本当の屍 会いに行くね

計画通りに角が吠えた

秒針を空に又貸し 段々雨は強く

悪戯猫も逃がすまじ 魔法瓶から

素っ頓狂な声上げて 散々逃げてく人

手始めはスケの脳天 抜き出した

爽やかに香るピンクレディー

グレナディンを加えて

酒盛りの乾杯の音頭

スポーツマンチョップ返り討ち ハートを敢えて外す

どす黒い翼を羽織る 抱き合わせた

素っ頓狂な声上げて 散々消えてく人

荒いサイレン梳る モヌケノカラ

恋のカナリアン

早く次の約束をしよう

敢えて突き飛ばしているのか

カナリアの声に酷似して

敢えて突き飛ばしているのか

澄んだ空の向こうに合わない色の所為なのかしら

かなりヤバイヤバイ夜の交差点

気まぐれな恋を欲しがって

澄んだ空の向こうに合わない夜の所為なのかしら

カナリアの声が裸になる時

次から次へと割られる窓ガラス

荷担したフリしてまたぶち壊す

駅は遠いか

壁の向こうに